

16
49

東京工業學校入學之學次
目

- 凡例及緒言
- 工業ニ關スル技藝ヲ修メント欲スル學生諸君ニ告ク
- 東京工業學校入學ノ案
- 明治廿八年入學試験問題
- 全 廿七年入學試験問題
- 全 廿六年入學試験問題
- 大成學館東京工業學校受験科規則

東京工業學校入學之學次

緒言并凡例

一富國ノ源流ハ一ニシテ足ラスト雖モ工業ハ其最要素ヲ成ラズンバア
 ラズ然レバ工業ノ盛衰ハ則チ一國ノ盛衰ニ關スルモノナレバ決シ
 テ之ヲ等閑ニ附スヘカラズ特ニ我國戰捷ノ善後策トシテ工業ヲ主
 トシテ發達セシメザルベカラザルハ一般識者ノ認ムル所今更説ク
 フ要セズ而シテ之ガ發達ヲ圖ラント欲セバ先ツ善良ナル工業家ヲ
 養成シテ天下ノ需用ニ應ゼシメザルベカラズ其技術者ノ養成所ハ
 則チ官立東京工業學校ナルベシ是ヲ以テ今回同校入學志望者ノ爲
 之ガ手引ヲナサントテ此冊子ヲ編纂スルコトヲナセリ

一此冊子ハ半バ東京工業學校一覽表ヨリ拔萃シタル者也同表ハ頗ル
 記述精密ニシテ中ニハ美麗ナル寫真圖ナドヲ挿入シテ注意到ラザ
 ル所ナシ然レドモ此表ハ豫約ニヨリテ配付セラレ、モノナレバ一

緒言并凡例

緒言并凡例

一富國ノ源流ハ一ニシテ足ラスト雖モ工業ハ其最要素タラズンバア
ラズ然レハ工業ノ盛衰ハ則チ一國ノ盛衰ニ關スルモノナレバ決シ
テ之ヲ等閑ニ附スヘカラズ特ニ我國戰捷ノ善後策トシテ工業ヲ主
トシテ發達セシメザルベカラザルハ一般識者ノ認ムル所今更説ク
ヲ要セテ而シテ之ガ發達ヲ圖ラント欲セバ先ツ善良ナル工業家ヲ
養成シテ天下ノ需用ニ應ゼシメザルベカラズ其技術者ノ養成所ハ
則チ官立東京工業學校ナルベシ是ヲ以テ今回同校入學志望者ノ爲
之ガ手引ヲナサントテ此冊子ヲ編纂スルコト、ナセリ

一此冊子ハ半バ東京工業學校一覽表ヨリ拔萃シタル者也同表ハ頗ル
記述精密ニシテ中ニハ美麗ナル寫真圖ナドヲ挿入シテ注意到ラザ
ル所ナシ然レドモ此表ハ豫約ニヨリテ配付セラル、モノナレバ

緒言并凡例

般ニ普及スルコト能ハザルノ遺憾アリ此書一小冊子ナリト雖モ同校ノ組織精神ヲ普ク天下ニ知ラシメントテ茲ニ其便ヲ圖リテ此蛇足ヲ添ヘタル也

一工業家教育家トシテ屢歐米ヲ經歷セラレ學問ト經驗トニ富メル東京工業學校々長手嶋精一君ガ今春工業ニ關スル技藝ヲ修メント欲スル學生諸君ニ告グト云フ一文ヲ世ニ公ニセラレシヲ本書ノ序論ニ換ヘタルハ同校入學志望者ニ一層ノ注意ヲ與ヘンガ爲ナリ

一工業學校入學志望者ハ宜シク其入學試驗學科問題ノ程度ヲ知ラザルヘカラズ左レバ其一班ヲ窺ハシメントテ殊更本年度ノ入學試験ヨリ溯ツテ最近三年間ノ入學試験問題ヲ蒐集シテ聊其參考ニ供セリ又工業教員入學試験モ同一ノ問題ニ付茲ニ之ヲ附言ス

明治廿八年十一月

編者 識す

工業ニ關スル技藝ヲ修メント欲スル學生諸君ニ告グ

手嶋精一

(序論)

全國諸學校生徒ノ卒業期ハ、概テ毎年三月ニ在リ。今ヤ僅ニ一月ヲ餘スノ時ナルヲ以テ、公私立尋常中學校ヲ卒業シ、尙進テ専門ノ學科ヲ修メント欲スル少年諸君ハ、其專修スベキ學科ニ關シ、千思萬考腦裏ニ往來スルモノアラン。夫レ専門ノ學科ハ、人ノ生涯ヲ委スベキ業務ノ素地ヲ作爲スベキモノナルヲ以テ、各自ノ境遇、意向若クハ父兄ノ希望等ニ依リ、熟慮決定スベキモノニシテ、妄リニ他ヨリ之ヲ肘制スルノ要ナキハ勿論ナレドモ、將來工業ニ關スル學科ヲ修メント欲スルノ人ニ向テ、一言ヲ述ブレハ、敢テ無用ノ業ニアラザルベシ。

我邦ニ於テ、目下工業ニ關スル學校ハ、官設ニ工科大學、第三高等學校工學部、及東京工業學校アリ、公立ニ特種ノ工業ヲ授クルニ二三ノ學校アリ、又私立ニ工手學校アリト雖モ、之ヲ農商業ニ關スル學校ニ比シ、其數未ダ少キハ、之ヲ十數年前ニ較ブレバ、就學ノ便ニ乏シカラズト云フベシ。今此等各學校ノ實況ヲ叙セント欲セバ、記事繁雜ニ亘リ、且ツ間々詳悉セザル所ナキニアラザルヲ以テ、余ガ直接關係セル東京工業學校ニ關シ述ブル所アラントス。

工業ニ關スル技藝ヲ修メント欲スル學生諸君ニ告グ

同校ノ目的ハ、主トシテ職工ヲ指導シ得ベキ技術者ヲ養成スルニ在ルヲ以テ、専門學科ノ外、職工ノ業ニモ通曉セシムルヲ要ス。故ニ在學中、其一年ハ、學業ヲ修メ、他ノ一年ハ、工場ニ在テ實地製造ノ業ニ從事セシメ、以テ專修ノ工業ニ熟練セシムルト同時ニ、勞働ノ習慣ニ馴致セシムルコトヲ期セリ。其學科程度ノ如キ甚ダ高カラズ、尋常中學校卒業以上ノ學力ヲ有スル者ハ入學スルヲ得ベシ。然レドモ、數學、物理、化學、圖畫等ノ學科ハ、工業ノ基礎ニシテ、密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ、入學試験ノ際ハ、最モ重キヲ此等學科ニ置ケリ、又尋常中學校卒業生ニシテ、無試験入學スルモノニ在テモ、亦此等學科ニ於テ、特ニ優等ノ成績ヲ得タルモノニ非レバ、入學ヲ許サルナリ。而シテ其修業年限ハ、僅々三ヶ年ナルヲ以テ、自家ノ事情ニ制セラレ、成ペク速成世ニ立タント欲スルモノニ在テハ、同校ノ如キ最モ捷徑ナルモノ、如シ。

同校ノ教科ハ、大別シテ化學工藝部、機械工藝部ノ二部トナシ、更ニ細別シテ、化學工藝部ハ、染織工科、窯業科、應用化學科ノ三科トナシ、機械工藝部ハ、機械科、電氣工業科此の二科ハ當ノ二科トス。而シテ染織工科ハ、染色機械ノ業、窯業科ハ、陶磁器セメント分之チ欠ケト等窯業ノ術、應用化學科ハ、製藥、釀酒、其他化學的製造業、機械科ハ、蒸氣機關、其他機械類ノ製造業ニ關スル學理ト實修トヲ併課セリ。

同校ハ、明治十九年始メテ卒業生ヲ出セシ以來、客年ニ至リ、卒業生ノ數、凡ソ四百學

ニ達シ、中ニ就キ、諸工場ノ技術者タルモノ最モ多ク、之ニ次グモノハ、諸官廳ノ技手ナリトス。而シテ卒業生總數ノ凡ソ八割以上ハ、皆其學修シタル業務ニ從事シ、各相當ノ地位ヲ有ツヲ以テ見レバ、其世益ヲ致ス、更ニ疑ヲ容レズ。殊ニ近年ニ至リ、卒業生ノ需要、供給ニ超過シ、本年ノ如キハ、卒業期ニ先チ、工業家ヨリ續々採用ヲ豫約スルモノアリ。是レ近年工業ノ振起ニ伴ヒ、學理ト實地トヲ兼修シタルモノ、有用ナルノ致ス所ニ外ナラザルベシ。顧ミテ我邦工業ノ實況ヲ觀察スレバ、從來機械ニ關スル工業ハ、長足ノ進歩ヲ呈シタルモ、化學ニ關スル工業ニ至テハ、其進歩遲々ノ感ナキ能ハズ。抑モ本邦ノ水陸ニハ、元來藥品染料、陶磁器等、學理ノ應用ヲ要スベキ化學的工業ニ供スル原料豊富ナルニ拘ラズ、今日此等製品ノ輸入饒多ナルハ、技術者其人ノ乏シキニ基因セズンバアラズ。是ヲ以テ、舊ニ廢物利用ノ道啓ケタルノミナラズ、徒ラニ天物ヲ暴殄スルノ憾ナキ能ハザルナリ。又機械的工業ニ至テモ、目下世論其必要ヲ識認セル製鋼製鐵事業ノ如キモ、其技術者欠乏セルニアラズヤ。且夫レ今ヤ軍國多事ノ時ナリト雖モ、戰捷後ニ於ケル國家ノ善後策、固ヨリ一ナラザルベキモ、必ズヤ工業ヲ振起シ、以テ國家ノ富源ヲ發開セントスルハ其一二ニシテ、國家經濟上忽ニスベカラザルコトタルハ、世既ニ定論ノアルアリ。之ヲ要スルニ、化學及機械的工業、共ニ自今以後、益旺盛ニ赴クベキ氣運ニ際シ、此等技術者ノ養成ハ、今日ノ急務タル、又論

ヲ俟タサルナリ、是ニ由テ之ヲ觀レバ、我工業ノ前途ハ、洵ニ多望ナルノ時ナリトス。殊ニ技術者ノ數、比較的ニ寡ナルノ時ニ方テハ、所謂先ンズレバ人ヲ制スルモノニシテ、世ノ工業ニ志ス少年子弟タルモノ、進テ工業界ニ出デ、大ニ其技能ヲ試ミントスルニハ、恰好ノ時期ナリト云フベシ。

又同校ハ、客年文部省ノ新設ニ係ル工業教員養成所ヲ管理セリ。同所ハ、徒弟學校、若クハ工業補習學校ノ教員タラントスルモノヲ養成スル所ニシテ、其所設ノ學科ハ金工科、木工科、染織工科、窯業科、應用化學科トシ、各、本科、速成科ノ二種アリテ、其生徒ハ、地方長官ノ推薦ニ係ルモノト、競爭試験ニ依リ入學スルモノトアリテ、若干ノ學資金ヲ補給セラル、モノトス。

同校及工業教員養成所、共ニ生徒入學ノ期ハ、毎年九月ニシテ、本年ニ於ケル生徒募集ノ期ハ、來ル七月ナリ。尙其詳細ヲ知ラント欲スルモノハ、同校ニ照會セバ、入學志望者ノ爲メ特ニ印刷シタルモノヲ送付スベキニ付、其印刷物ニ就キ一覽スルヲ要ス。

東京工業學校入學ノ棗

東京工業學校ハ、東京市淺草區藏前ニ在リ、地積壹万七十七坪ヲ所有シ、前面ハ淺草大道ニ面シ、背面ハ隅田川ニ瀕シ、校内ニ條ノ入堀アリテ製造ノ原料石炭ノ運搬ニ便ナリ而シテ、此ニ建設スル建物ノ總積ハ三千三百五十七坪ニシテ、校舍ハ大別シテ學科ノ授業ニ供スルモノト、教場製作實驗ニ供スル實修工場トノ二トナセリ。

東京工業學校ハ、主トシテ將來職工長若クハ工業教員タルヘキモノヲ養成スル目的ヲ以テ設置セラレ、今其起原ヲ叙スレハ、明治十四年五月文部省創メテ東京工業學校ヲ東京ニ興スニ濫觴シ、爾來幾多ノ變遷ヲ經テ同廿三年三月ニ至リ、勅令第四十三號發布ノ時ヲ以テ東京工業學校ト改稱セラレ、同廿六年八月勅令第八十六號及第八十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制并職員定員ヲ改正セラレタリ。

又附屬職工徒弟學校ハ、明治廿三年一月廿一日高等商業學校附屬商工徒弟講習所職工科ヲ職工徒弟講習所ト改メ、工業學校ニ屬セラル、ニ創リ次テ職工徒弟學校ト改稱シ、專ラ金工木工ノ徒弟タルベキモノニ適應ナル學術ヲ授ケ、以テ善良ナル職工タルベキモノヲ養成スルニアリテ、其卒業ノ成績良好ニシテ卒業生ヲ需用頗ル多シト云フ。

明治廿七年六月二日法律第二十一號ヲ以テ實業教育國庫補助法ヲ發布セラレ、同年六

東京工業學校入學ノ棗

(工業教員養成所)

(職工徒弟學校)

(學科)

(位置)

月十四日徒弟學校及工業講習學校ノ教員タルヘキモノヲ養成スル爲メ文部省令第十
二號ヲ以テ工業教員養成規程ヲ發布セラレ工業教員養成所ヲ置キ東京工業學校ノ管
理ニ付セラレタリ

(教科)

教科ヲ分チテ化學工藝部機械工藝部ノ貳部トシ更ニ化學工藝部中染織工科窯業科應
用化學科ノ三科ヲ置キ機械工藝部中機械科電氣工業科ノ貳科ヲ置キ本校ニ入學志望
者ハ先ツ其一ヲ撰ミ入學後ハ直ニ其所撰ノ學科ニ就キ修業セシム凡ソ在學生徒ハ概
テ授業時間ノ一半ハ教場ニ於テ學科ヲ學修シ他ノ一半ハ工場ニ於テ實地練修スルモ
ノトス

(學級)

(化學工藝部)

化學工藝部及機械工藝部ノ學科課程ヲ三學級ニ分チ一學年ヲ終ルモノトス
化學工藝部ニ在テハ染織工科ニ染工場機械場乾燥室捺染場アリ而シテ此等工場ヘ蒸
氣ヲ給シ及用水ヲ供スル唧筒ヲ運轉スル爲メ十二馬力ノ蒸氣罐ヲ裝置ス又窯業科ニ
陶磁器原料分拆室畫工場陶磁器細工場水篋場及諸窯爐アリ又應用化學科ニ實驗工場
アリテ化學的諸製造實修ノ用ニ供セリ

(機械工藝部)

機械工藝部ニ在テハ機械科ニ製圖場木工場鑄造場鍛工場仕上場製罐場アリ此等工場
ノ諸機械ヲ運轉スル爲メ十二馬力ノ蒸氣罐及機關貳基ヲ裝置ス又電氣工業科ハ設備
ノ完備スルヲ待テ專修ノ一科トシテ教授セントス今暫ク機械科及應用化學生徒ヲシ

(入學ノ期)

(入學者資)

テ専門學科修業ノ傍テ電氣工業中必須ナル一部ヲ修メシムル爲メ實驗工場ノ設ケア
リテ之ニ六馬力ノ蒸氣罐及機關ヲ裝置セリ

入學ノ期ハ每學年ノ始メ一回ニシテ入學試業ハ學年末(七)若クハ學年ノ初メ(九)同校
ニ於テ之ヲ施行セラル

入學セントスルモノハ左ノ各項ニ適合シ且學科試業ニ合格スルモノトス

一年齡滿十七年以上滿廿五年以下

一品行端正ナル者 身體強健ナル者

一工業者ノ子弟又ハ將來工業ニ從事セントスル志願ノ鞏固ナル者

入學志望者ハ必ス前章ノ教科及學科課程ニ就キ專修スヘキ學科ノ一ヲ撰ムヲ要ス入
學後甲科ヨリ乙科ニ轉學スルヲ許サズ

入學試業ノ學科目左ノ如シ 但其程度ハ尋常中學校卒業ノ程度ニ依ル

一讀書 漢字交リ文 作文 漢字交リ文 一算術 四則、分數、小數、

比例、百分算、開平、開立、求積

一代數 諸定義、符號、四則、最大公約數、最少公倍數、分數、比例、一元一次
方程式、多元一次方程式及其問題負數ノ解釋、不定不能ノ場合、不等式二次ニ方程式

一平面幾何 諸定義、一點ニ於ル角、平行直線三
角形、平行四邊形、軌跡、平面積、圓、作畫、比例、相似形

一圖畫 自在畫 (鉛筆畫若クハ毛筆畫) 器具及草花等ノ臨本模寫
用器畫 平面幾何 法及尋常投象法 (圓筒、圓錐等ノ複針斜迄)

（無試験入
格者ノ資）

一物理 大意 一無機化學 大意 一英語解釋 凡ユニオン第四讀本
ノ程度ニ依ル

道廳府縣立尋常中學校高等中學校豫科及本校ニ於テ適當ト認メタル市町村立又ハ私
立尋常中學校卒業生ニシテ入學ニ必要ナル資格ヲ具ヘ卒業試業ニ於テ（別ニ卒業試業
ヲ施サル學校ニ於テハ最終ノ學年試業ニ於テ）左ノ成績ヲ得タルモノハ當該學校長
ノ證明ニ依リ特ニ入學試業ヲ須キス入學ヲ許可スヘシ

一算術 定點三分ノ二以上 一代數 全 一幾何 全 一圖畫 全
一物理 全 一化學 全

（募集人員）

毎年募集人員ハ概テ九十名以内ニシテ大凡之ヲ貳分シ其半數ヲ競争試験ニ合格スル
モノヨリ入學セシメ他ノ半數ヲ無試験入學ノ資格ヲ有スル者ヨリ入學セシムベシ
競争試験ニ合格スルモノ及無試験入學ノ資格ヲ有スル者各其募集人員ニ超過スルト
キハ先ツ工業者ノ子弟ヲ撰拔シ尙募集人員ニ滿タザルトキハ入學試験ニ合格シタル
モノニ於テハ成績ノ優等ナルモノヨリ次第ニ入學セシメ無試験入學ノ資格ヲ有スル
モノニ於テハ左ノ學科目ヲ試験シ其成績ノ優等ナルモノヨリ次第ニ入學セシムベシ

物理 數學 英語

右試験ノ程度ハ尋常中學校學科程度ニ依リ東京居住ノ者ハ本校ニ於テ試験ヲ施行

（合格者撰
拔標準）

（特待生）

シ在地方ノ者ハ所在地方ノ尋常中學校ニ囑シ試験ヲ施行スルモノトス
生徒學力優等品行善良ニシテ他生徒ノ模範タルベキモノハ特待生トナシ一學期若ク
ハ數學期間ノ授業料ヲ免除ス又特待生ニシテ其資格ヲ失フモノアルトキハ直ニ其特
待生タルコトヲ止メ其月ヨリ授業料ヲ徴收スベシ

生徒學業不進若クハ品行不正ニシテ成業ノ目的ナシト認ムルモノ又ハ工場實修ヲ嫌
厭スルノ形跡アルモノハ退學ヲ命スベシ

（練習）

生徒ヲシテ學術應用ノ道ヲ練習セシムル爲メ其課業ノ餘暇又ハ夏期休業中教員其學
力ヲ計リ既ニ學修セシ所ニ依リ本邦工業上必須ナル事項ヲ講究セシメ又ハ機械標本
等ヲ製造セシムルコトアルベシ但シ本文ノ成績ハ教員ニ於テ評點ヲ付シ之ヲ學年評
點數ニ勘合スルモノトス

（卒業證書）

生徒第二學年ノ終リニ於テ試業ノ成績進級ノ格ニ合フモノハ卒業證書ヲ與ヘ成績優
等ナルモノニハ優等卒業證書ヲ與フ

（現業練習）

生徒ハ主トシテ職工長タラントスルモノヲ養成スルニ在ルヲ以テ諸工場ノ業務ヲ練
習スルハ頗ル必要ナルニ依リ卒業ノ後尙一ケ年以上現業練習トシテ同校ノ監督ヲ受
ケ製造所又ハ實業者ニ就キ職工ノ業ヲ操ラシムルモノトス但シ本文現業練習ニ從事セ
ントスルモ製造所又ハ實業者ニ於テ使用スルモノナキトキハ學校長ノ承認ヲ經テ一

時他ノ業務ニ從事スルコトヲ得
 卒業生ニシテ既ニ現業ヲ練習完了スルトキハ同校ハ其使用セラレタル製造所又ハ實業者ノ證明ニ基キ更ニ其成績ヲ考查シ實業ニ練熟シ行狀善良ナリシモノニハ職工長合格證書ヲ與フ

(學費)

同校ニハ寄宿舎ノ設ナキヲ以テ生徒ハ總テ通學スルモノトス
 實驗工場ニ於テ實修ニ要スル諸般ノ道具機械并ニ金屬木材藥品等ノ材料ハ貸付若クハ使用セシムルモ左ノ諸費ハ自辨スベキ學費ノ概算トス

(試驗料)

入學試驗ヲ受ケント欲スルモノハ試驗料トシテ金貳圓ヲ本校收入官吏ニ納ムベシ
 但試驗料ヲ納付シタル後入學願ヲ取消スモ試驗料ハ返附セス

(手数料)

無試驗入學ノ資格ヲ有スルモノニシテ入學ヲ願フモノハ手数料トシテ金壹圓ヲ本校收入官吏ニ納ムベシ但手数料ヲ納付シタル後入學願ヲ取消スモ之ヲ返付セズ

(授業料)

生徒(專攻科生共)授業料ハ一學年金拾五圓ト定メ之ヲ貳回ニ分納セシム但特待生トナリタルモノハ授業料ヲ徴收セス

(服制)

生徒ハ自費ヲ以テ本校制定ノ帽被服ヲ調製着用スベシ但新入學生徒ハ其入學ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ制定ノ帽被服ヲ調製スベシ

(學費一覽表)

以上諸學費ノ外書籍圖引器械筆紙墨等概テ第一年ニ在テハ貳拾圓第貳第三年ニ在テ

(卒業生就業表)

ハ拾二三圓ヲ要スベシ又府下ニ下宿スルモノ、如キハ以上授業料其他ノ學費ニ下宿料等ヲ加ヘテ計算スレバ年額凡ソ百圓ヲ要スベシ
 明治十九年ヨリ同廿七年迄九年間同校卒業生總人員二百八十七名中就業表ヲ分類スレバ左ノ如シ

種別	化學工藝部卒業	機械工藝部卒業	計
東京工業學校ニ於テ學修シタル教科ニ關シ官廳ニ奉職スル者	二十八人	五十六人	八十四人
全上私立工場ニ就業スルモノ	二十七人	九十七人	百二十四人
全上學校教員タルモノ	二十四人	二十五人	四十九人
自營	三十九人	七人	四十六人
海外留學	○	四人	四人
專攻科生	一人	○	一人
兵役	十四人	三十三人	四十七人
未定	八人	十七人	二十五人
死亡	四人	三人	七人
合計	百四十五人	二百四十二人	三百八十七人

東京工業學校入學ノ案

明治廿八年入學試驗問題

讀書問題

注意第一問及第二問トモ漢字ニハ訓ミ方ヲ附ケ圍

第一問 良香博聞疆記善ク文ヲ屬ス弱冠學ニ入ル時ニ士
 習於伐妍媸分タス良香之ヲ嫉ミ辨薰蕕論ヲ著ス其略ニ
 曰ク人ニ賢愚アリ物ニ美惡アリ人賢才ヲ以テ賢ト爲シ
 物美體ヲ以テ美ト爲ス是故ニ人ノ賢才アル者名高ク物
 ノ美體アル者價貴シ庸詎ソ人ニ賢愚ナク物ニ美惡ナシ
 ト謂ンヤ若シ然ハ則チ曲阜丘培樓ニ比シテ別ナク紫
 蘭紅蕙蕭艾ニ混シテ分タス何ソ其誤ルヤ夫艸ノ薰蕕ア
 ル亦猶人ノ賢愚アルカ如シ薰蕕一園ノ中ニ生シ皆枝葉

試驗問題

ア○リ○賢○愚○二○儀○ノ○間○ニ○居○リ○皆○頭○足○ア○リ○人○或○ハ○辨○セ○ス○異○同○
 ナ○キ○ヲ○謂○フ○彼○一○賢○一○愚○ニ○シ○テ○世○以○テ○異○ト○爲○サ○ス○或○ハ○香○
 或○ハ○臭○ニ○シ○テ○人○猶○同○ト○爲○ス○遂○ニ○賢○愚○一○貫○香○臭○器○ヲ○同○セ○
 シ○ム○此○時○ニ○當○リ○能○ク○視○ル○者○之○ヲ○視○テ○人○ノ○賢○愚○ヲ○別○チ○能○
 ク○聞○ク○者○之○ヲ○聞○テ○艸○ノ○香○臭○ヲ○辨○ス○夫○臭○キ○者○ハ○道○路○ニ○生○
 シ○牛○羊○其○萌○芽○ヲ○踐○ミ○香○シ○キ○者○ハ○宗○廟○ニ○薦○メ○鬼○神○其○氣○味○
 ヲ○享○ク○今○ノ○君○子○若○シ○能○ク○鶻○鳩○ノ○啄○ヲ○杜○絶○シ○テ○其○芬○芳○ヲ○
 久○シ○蕙○莠○ノ○根○ヲ○鋤○除○シ○テ○其○穢○惡○ヲ○雜○ル○無○カ○ラ○シ○メ○器○ヲ○
 同○シ○テ○藏○メ○ス○當○ニ○處○ヲ○異○ニ○シ○テ○種○へ○シ○則○チ○美○惡○香○臭○得○
 テ○明○ナ○ル○ヘ○シ○

第二問 問注所 詠祓 陸梁 鉶 屯倉
 釋奠 巫覡 篙師 攝關 籀篆

作文問題

目下ノ急務ハ工業ヲ擴張スルニアルノ論

算術問題

第一 十一ニテ除スレハ商若干ヲ得テ殘數三ヲ得八ニテ
 除スレハ又他ノ商ヲ得テ殘數七ヲ得ヘキ數最小ナルモ
 ノヨリ二種ヲ求ム
 第二 瓦斯燈一個ヲ點スルニ通常一時間ニ付四、五立方呎
 ノ瓦斯ヲ要ス而シテ瓦斯一立方呎ノ價ハ二厘ナリ此代
 リニ同光ヲ有スル電燈一個ヲ用キルトキハ毎日十二時

試験問題

三

間ツ、點スレハ一ヶ月ノ費用一圓五十錢ナリト云フ今
各毎日平均十時間ツ、點燈スルトセハ一ケ年ノ終リニ
於テ其費用ノ差幾何

第三 次ノ式ノ値ヲ計算セヨ

$$\frac{\sqrt{355} + \sqrt{113}}{\sqrt{355} - \sqrt{113}} \times \frac{22}{7}$$

$$\frac{15 + \sqrt{10}}{15 - \sqrt{10}} + \frac{15 - \sqrt{10}}{15 + \sqrt{10}}$$

但シ小數點以下三位マテ精算スヘシ

第四 或人金若干圓ヲ年六分ノ重利ニテ借り毎年ノ終リ
ニ金一千圓ツ、償却シ三年ノ終リニ至リテ原利共悉皆
償還セリト云フ最初借り入レシ金額ヲ問フ

第五 直徑四尺深サ六間ナル井ヲ穿テ此土ヲ以テ直徑二

間四尺ノ圓錐形ノ山ヲ築カントス山ノ高サ幾許

代數學問題

第一 次ノ式ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{2x^3 + 4x^2 + 3x + 4}{x^2 + 1} - \frac{2x^3 + 4x^2 - 3x - 2}{x^2 - 1}$$

第二 次ノ二ツノ式ノ最大公約數ヲ求ムヘシ

$$x^3 + 3px^2 - (1 + 3p), \quad px^3 - 3(1 + 3p)x + 3 + 8p$$

第三 船アリ不流ノ水ニテハ毎時十二里ヲ行ク今流水ニ
於テ七時間ニ溯リシ距離ハ五時間流レニ順フテ進下シ
タル距離ニ等シト云フ此河流ノ速度毎時幾何里ナルヤ

第四 次ノ方程式ヲ解ケ

$$35y + 7z = 22$$

$$14z + 113x = 399$$

$$\frac{1}{5}x - y = \frac{71}{113}$$

第五 $\frac{x^2 - 2}{2x^3 - 4x + x^2 - 2}$ 式ニ於テ $x = \frac{a^2}{a + b}$ トスレハ其値如何

幾何學問題

- 第一 四邊形ノ對角線ノ中點ヲ連結スル直線ノ四倍ハ其四邊ノ和ヨリ小ナルコトヲ證セヨ
- 第二 一ツノ三角形ノ二邊カ他ノ一ツノ三角形ノ二邊ニ等シク又其二邊ノ相會スル頂點ヲ對邊ノ中點ニ結ビ付クル直線カ相等シケレハ兩三角形ハ全ク相等シ之ヲ證

明セヨ

第三 ABCナル三角形ノAB AC邊ノ上ニ其外側ニ行四邊形ヲ作りMF NEヲ延長シテHニ會セシム又BD CKヲHAニ平行ニ且ツ等シク引ケハAFMB AENCノ和ハBDKCニ等シ之ヲ證明セヨ

自在畫問題

墨壺と矩尺

用器畫問題

第一 一邊ノ長サヲ知テ任意ノ正多邊形ヲ畫クヘキ方法

英語問題

下ニ掲クル英文ノ意ヲ譯述スヘシ

注意(字書類ノ引用ヲ許サス)
時間二時

July, 2555.

1. No material has yet been discovered to supersede the use of linen and cotton rags in making the finer qualities of paper.
2. The corruption of death began to ferment into new forms of life.
3. Excess of ceremony snows want of breeding. That civility is best, which excludes all superfluous formality.
4. These tidings were daggers to the heart of idle boy.
5. If hereditary transmission is a law of nature, as every naturalist knows it to be, and as our daily remarks and current proverbs admit it to be; then on the average of cases, the defects of children mirror the defects of their parents.

如何

第二 正三角四面體(邊ノ長サ一寸二分)アリ其甲面ハ水平
投象面ニ密着シ及乙面ハ垂直投象面ニ直角ナルトコロ
ヲ投象シ次ニ乙面ニ並行ニシテ垂直投象面ニ直角ナル
平面ヲ以テ體ヲ任意ノ所ヨリ截斷スルモノトシ而テ此
截斷面ノ實形ヲ畫クヘシ

第三

圓錐體(高サ二寸、底面ノ直徑一寸四分)ヲ投象スヘシ
但シ軸線ハ水平投象面ニ六十度、垂直投象面ニ三十度

傾斜スルトコロトス

注意

答圖ハ凡テ墨入レスヘシ

化學問題

- 第一 物體ノ化合スルニ當リテ倍數比例ノ法則ニ從フモノアリ是如何ナル事ソ詳細ニ説明セヨ
- 第二 酸化作用トハ如何ナル事ソ例ヲ舉ケテ詳解セヨ
- 第三 水中ニソヂウムヲ投スレハ如何ナル變化ヲ生スルヤ且其變化ヲ示スヘキ方程式ヲ記セ
- 第四 過酸化マンガン、食鹽及硫酸ヲ以テ鹽素ヲ製スルニ當リ純粹過酸化マンガン拾貫目ヲ用フルトキハ鹽素幾何ヲ得ヘキヤ $Mn=55$
- 第五 金屬元素ノ酸化物ト非金属元素ノ酸化物トハ化學的性質上如何ナル差アルヤ

第六 黄金白金等ノ王水ニ溶解スルハ如何ナル作用ノ起ルニ因ルカ

物理學問題

- 第一 速度及ヒ加速度ノ解釋
- 第二 ポンプノ理ヲ詳説セヨ
- 第三 上端開キタル管ニ下端ヨリ空氣ヲ送リテ音ヲ發セシムルトキハ結部ト腹ノ位置如何
- 第四 光ノ屈折ノ定律ヲ掲ケ且ツ之ヲ説明セヨ
- 第五 ブンセン電池ノ構造及ヒ働キヲ問フ

明治廿七年入學試驗問題

讀方問題

注意

漢字ニハ凡テ假名ヲ以テ讀ミ方ヲ附ケ圈點ヲ附セル
假分ニハ別ニ譯解ハ問題ノ餘白及ヒ裏面等ニ記入スヘシ

第一 是ニ於テ道譽則祐及ヒ佐佐木氏頼ト與ニ高經ヲ義
詮ニ譖ス義詮密ニ氏頼ヲシテ兵ヲ近江ニ徵セシメ高經
ヲ討タント欲ス高經之ヲ聞キ入テ見ヘ泣テ曰ク老臣果
シテ罪アラハ一介死ヲ賜フテ可ナリ何ソ兵ヲ徵スル
ヲ煩ハサン臣不才ヲ以テ私ヲ忘レ公ニ利ス謗讟叢ル所
敢テ餘年ヲ愛マス唯恐ル將軍耆舊ヲ殺スノ名ヲ得ンコ
トヲ義詮亦涙ヲ揮フ之ヲ久フシテ辭シ出ツ義詮呼ンテ

第二 曰ク衆怒犯シ難シ卿且ク國ニ就ケ高經義將ヲ以テ北歸
ス兵ヲ遣リ之ヲ攻ム已ニシテ高經病シテ卒ス道譽機智
多シ逢迎ヲ善クス高師直ノ後ヨリ獨リ權寵ヲ錮ク家極
メテ豪侈四執事ヲ陷リ己毎ニ解脫ス
遺孽 呪詛 造詣 初服 閩外 元元
番匠 陪臣 髻亂 巾幗

作文

我邦ニ工業ノ擴張ヲ必要トスルノ理由ヲ論ス

算術問題

第一 本年一月一日ハ月曜日ナリ、今祭日ノ翌日及ビ日曜

日ノ翌日休刊スル某新聞ノ定價一日分一錢五厘、一年分三圓六拾錢ナリトセバ一日分宛購讀スルト一年分ヲ購讀スルトハ本年一ケ年ノ代價ニ於テ幾何ノ差アルカ

祭日 一月一日、三日、三十日 二月十一日 三月二十日
 四月三日 九月二十三日 十月十七日
 十一月三日、二十三日

第二 二數アリ、其比ハ七ノ四ニ於ケルガ如ク、其最大公約數ハ百五十三ナリトイフ、二數各幾許

第三 $\frac{22}{7}, 3\frac{16}{113}, 3(3+\sqrt{5}), 3+\frac{1}{6+\frac{1}{2+\frac{1}{8}}}$ ヲ各小數五位マデ正シク計算シテ圓周率 3.14159 ニ最近ノ答ヨリ順次ニ列記スベシ

- 第四 爰ニ二町四方ノ地面アリ甲乙二人同時ニ一隅ヨリ出發シ甲ハ對角線ニ沿ヒ乙ハ周邊ヲ沿ヒテ走り相會セントス乙ハ一分間八十尺ヲ走り甲ハ乙ノ一倍半ノ速度ニテ走ルトイフ、二者何レノ處ニ於テ相會スルヤ
- 第五 外徑一尺二寸、内徑一尺、深サ二尺ノ鑄鏡製圓桶アリ底ノ厚サハ一寸ナリ、今鑄鉄一立方尺ノ重サヲ五十三貫ナリトスルトキハ此鏡桶ノ重サ何貫目ナルヤ

代數問題

第一 次ノ式ヲ簡單ニセヨ

$$a^2\left(\frac{1}{b}-\frac{1}{c}\right)+b^2\left(\frac{1}{c}-\frac{1}{a}\right)+c^2\left(\frac{1}{a}-\frac{1}{b}\right)$$

$$a\left(\frac{1}{b}-\frac{1}{c}\right)+b\left(\frac{1}{c}-\frac{1}{a}\right)+c\left(\frac{1}{a}-\frac{1}{b}\right)$$

第二 或人自轉車ニテ百二十「ヤード」ノ距離ヲ走ルニ前輪ノ回轉數後輪ノ回轉數ヨリ多キコト六ナリ、今若シ前輪ノ周圍ヲ其四分ノ一増大シ後輪ヲ五分ノ一増大セバ回轉數ノ差、四ニ減ズベシトイフ、前輪後輪ノ周圍各幾「ヤード」ナルヤ

第三 金剛石ノ價ハ重量ノ二乗ト比例シ黄金ノ價ハ重量ト比例ス、今金剛石 a 匁ノ價ハ黄金 b 匁ノ價ノ m 倍ニシテ合計 c 圓ナリトセバ各 x 匁ノ價幾何

第四 次ノ一組ノ方程式ヲ解ケ

$$\frac{xy}{4y-3x} = 20, \quad \frac{yz}{4y-5z} = 12, \quad \frac{zx}{2z-3x} = 15$$

第五 a が限リナク一ニ近迫スルトキハ次ノ式ノ値ノ極

$$\frac{a^3-s^3}{a^2-s^2} = s+1$$

限何如

幾何問題

第一 直角二等邊三角形 ABC ニ於テ AB ヲ弦トス、 BAC 角ヲ二等分シテ AD ヲ作り BC ト D ニ會セシムレバ AC 、 CD ノ和ハ AB ニ等シキコトヲ證セヨ

第二 面積ニ關スル定理ニ據ラスシテ、正方形ノ對角線ハ一邊ノ三分ノ四ヨリ長ク、其二分ノ三ヨリ短キコトヲ證スベシ

第三 $ABCD$ ナル平行四邊形ノ對角線 AC 上ノ一點 P ヨリ PB 、 PD ノ二直線ヲ引クトキハ PCD 、 PCB 兩三角形ノ面積相等シキコトヲ證スベシ

トヲ證セヨ

自在畫

コーモリ傘ノ臺トコーモリ

用器畫試驗問題

- 第一 長徑三寸、短徑貳寸貳分ノ橢圓ヲ畫クベシ
但シ兩脚規ヲ用キテ近真ナル橢圓ヲ畫ク方法ニ依ルベシ
- 第二 直線ノ垂直投象及ビ水平投象共ニ界線ニ直角ナルトキハ垂直投象面及ビ水平投象面ニ對シテ此ノ線ノ位置如何ナルヤヲ解説セヨ

- 第三 水平投象面ニ直立スル正五角錐體(高サ貳寸五分、底面ノ一邊ノ長サ一寸貳分)ヲ投象シ而シテ水平投象面ニ三十度傾斜シ垂直投象面ニ直角ナル平面ヲ以テ錐體ニ於ケル軸線ノ中央點ヲ通ジテ之ヲ截斷スルモノトシテ其截斷面ノ實形ヲ畫クベシ
但シ底面ハ水平投象面ニ密着シテ底邊ノ一ハ界線ニ傾斜スルコト二十度ナリトス
- 注意 答圖ハ凡テ墨入レスベシ

化學問題

- 第一 $\text{KClO}_3 \rightarrow \text{KCl} + \text{O}_2$ 此化學方程式ノ意義ヲ詳ニ解釋セヨ
- 第二 空氣ハ窒素及ヒ酸素ノ化合物ニアラズシテ其二瓦

試驗問題

二〇
斯ノ混合物タルコトヲ證明スヘキ試験ノ方法ヲ詳記セヨ
第三 鹽素ノ製法及其著名ナル化學的性質ヲ記載セヨ
第四 食鹽トアムモニアトヲ含有スル水ヨリ純粹ナル水ヲ製出スベキ方法ヲ説明スベシ
第五 酸、鹽基及ヒ鹽ナル語ノ意義ヲ解釋セヨ

物理問題

第一 一秒時間三十メートルノ速度ヲ以テ物體ヲ下ヨリ上ニ向テ鉛直ニ抛テバ幾許ノ高サマデ達スベキカ又幾秒ヲ經テ元ノ處ニ落テ來ルベキカ
(1) 但シ重力ノ加速度九、八メートル

第二 華氏寒暖計ノ九十度ノ溫度ハ攝氏寒暖計ノ何度ニ當ルカ
第三 銅ノ比熱 $\frac{1}{11}$ ナリトイフハ何ノコトカ、詳細ニ説明セヨ
第四 音ノ高サ、強サトハ何カ、其原因ヲ問フ
第五 水中ニ棒ヲ樹ツレバ其實ノ長サヨリハ短ク見ユル理由ヲ詳説セヨ

英語問題

下ニ掲クル英文ノ意ヲ譯述スベシ

注意〔字書類ノ引用ヲ許サス〕

1. Gentle as he seemed, he wished to have his own way, and he had it throughout his life.
2. I must go still further, and affirm that in the eye of science the animal body is just as much the product of molecular force as the stalk and ear of corn, or as the crystal of salt or sugar.
3. If I had to choose, I would prefer to be a descendant of a humble monkey rather than of a man who employs his knowledge and eloquence in misrepresenting those who are wearing out their lives in the search for truth.
4. More accurate knowledge implies increasing power, greater wealth, higher virtue.
5. They are what they are, largely because they were born in poor cottage.

明治廿六年入學試験問題

讀方問題

注意 漢字ニハ凡テ假名ヲ附シ圈點ノ部ニハ特ニ釋義ヲ加フベシ

第一 初メ義昭近江ニ奔リ六角義賢ニ依テ京ニ入ランコトヲ求ム國難アルニ屬シ果サス若狹ニ如キ武田義統ニ依ル國小ニシテ弱事ヲ成スコト能ハス遂ニ越前ニ如キ朝倉義景ニ依ル善ク之ヲ遇ス己ニシテ禮待衰フ美濃ニ如カシト欲シ日者大華ヲシテ之ヲ筮セシム臨ノ節ニ之クニ遇フ大華曰ク知シテ臨ム大君ノ宜アリ吉ナリ公必ス京師ニ歸ラシ義昭意乃チ決ス細川藤孝上野清信ヲ遣リ織田信長ヲ説カシム信長大ニ喜ヒ不破河内

ヲシテ之ヲ逆ヘシム秋七月義昭美濃ニ至ル信長迎ヘ謁
 シテ太刀鎧馬ヲ獻シ之ヲ立正寺ニ館ス供億甚タ備レリ
 義昭曰ク昊天禍ヲ降シテ先君難ニ遇ヒ孤流離播越備ニ
 艱難ヲ嘗ム心ヲ焦シ思フ苦メ以テ仇ヲ報ヒント欲ス若
 シ卿ノ力ニ藉リ逆賊ヲ討ツヲ得ハ則チ管ニ先君ノ讎ヲ
 復スルノミナラス社稷ニ大造アルナリ信長曰ク公臣カ
 不肖ヲ以テセス辱ク敝邑ニ臨マル臣敢テ力ヲ竭シ以テ
 收復ヲ圖ラサラン義昭大ニ悦ブ

第二 祓禊。皂衣。肄習。辟穀。落首。大番。關塞。
 鏗木。手末ノ調。族制ノ政治。

作文問題

恒ノ産ナキモノハ恒ノ心ナシ

算術問題

第一 分數アリ其分子ニ二十ヲ加ヘ分母ニ二十五ヲ加フ
 ルモ其值變ラズ又分子ト分母ノ最小公倍數ハ三百四十
 ナリトイフ、分子及分母ヲ求ム

第二

$$\frac{1}{2} \sqrt{8.1416 \times (2\frac{11}{12} - 1\frac{15}{16})^2} \text{ノ値ヲ求ム}$$

$$(25\frac{2}{3} + 7\frac{2}{3}) \div 6.25$$

但小數點以下四位マデ精算スベシ

第三 正方形ノ池アリ其一邊十七間ニシテ水中ニ一本ノ

杭アリ池ノ一邊ノ中央ヨリ其邊ニ沿フテ邊ノ四分ノ一步ミテ杭ヲ望メバ正面ニアリ尙歩ミテ中央ヨリ一邊ノ一倍半ノ所ニ到リテ顧レバ對邊ノ中央ト杭ヲ一直線ニ視ルトイフ杭ハ兩對邊ノ中央ヨリ幾許ノ距離ニアリヤ

第四 A B 二人ノ旅人アリ A ハ徒歩シ B ハ自轉車ニ乗ジ同時ニ甲所ヲ發シテ乙所ニ赴クニ出發後二時間半ヲ經テ A ノ B ニ後ル、コト四里ナリ、A ハ十五時間ニテ乙所ニ達シタリトイフ、B ハ何時間以前ニ達シタリヤ

但甲乙二所ノ距離十六里

第五 次表ノ右行ニ數字ヲ記入シ各單位ノ關係ヲ示スベシ

代數學問題

第一 次ノ式ヲ簡單ニセヨ

$$2a^3 + 2a^2b + 2ab^2 - a^4 - a^3b - a^2b^2 + \sqrt{a^2 + b^2} (a^3 + a^2b - 2a^2 - 2ab)$$

第二 $ad' = bb' = cd'$ ナルトキハ

$$(a+b)(b+c)(c+a) = (a'+b')(b'+c')(c'+a')$$

一	寸	尺	間	町	里
一	寸	尺	間	町	里
一	寸	尺	間	町	里

一	平方寸	平方尺	平方間	平方町	平方里
一	平方寸	平方尺	平方間	平方町	平方里
一	平方寸	平方尺	平方間	平方町	平方里

一	立方寸	立方尺	立方間	立方町	立方里
一	立方寸	立方尺	立方間	立方町	立方里
一	立方寸	立方尺	立方間	立方町	立方里

ナルコトヲ證明スヘシ

第三 次ノ方程式ヲ解ケ

$$\sqrt{a+2b} + \sqrt{a-2b} = 4$$

$$\sqrt{a+2b} + \sqrt{a-2b} = 4$$

第四 次ノ一組ノ方程式ヲ解ケ

$$x + \frac{y}{2} = 6$$

$$y + \frac{x}{2} = 6$$

$$x + \frac{y}{2} = 6$$

$$y + \frac{x}{2} = 6$$

モシ $b \parallel c \parallel d \parallel e$ ナルトキ未知元ノ値如何

第五 時計ノ長針ハ XI ト XII トノ間ニアリテ短針ハ X ト XI

トノ間ニアリ短針進ミテ今ノ長針ノ位置ニ來ルトキハ
長針ハ今短針ノ在ル所ニ來ルベシトイフ、今ノ時刻ヲ問
フ

幾何學問題

第一 正十五角形ノ内角ハ各幾直角ナルヤ

第二 代數式 $(a+b)^2 + (a-b)^2 = 2(a^2 + b^2)$

ニ對應スル幾何學ノ定理ヲ述べ且ツ圖形ヲ作りテ之ヲ
證スベシ

第三 ABC ナル三角形ノ BC 邊ガ AC 邊ノ二倍ニ等シキトキハ
AD ナル中線ハ AB 邊ト ADC 三角形ノ中線 AE トガナス角ヲ二
等分スルコトヲ證明セヨ

第四

AN BP CQ DM ナル直線相會シテ一ツノ四邊形ヲナス
M N P Q ハ ABCD ナル正方形ノ AB BC CD DA 邊ノ中點ナリ

- 一 此四邊形ハ正方形ナリ
- 二 此四邊形ノ面積ハ ABCD 正方形ノ面積ノ五分ノ一ニ等シ之ヲ證明セヨ

用器畫問題

○半圓周ノ長サニ等シキ直線ヲ畫ク方法ヲ圖解スヘシ
 ○但半圓周ノ直徑二寸トス○正四角錐體アリ其軸線ハ
 水平投象面ニ並行ニシテ垂直投象面ニ七十五度傾斜シ
 及其ノ底面ノ一邊ハ水平投象面ニ密着セリ此ノ兩投象
 ヲ圖スヘシ○但シ頂點ヨリ底角ニ至ル長サ三寸○底面

ノ一邊ノ長サ一寸五分

注意

答圖ハ一問毎ニ一紙ニ畫クヘシ
答圖ハ墨入レヌヘシ

鉛筆畫臨本

筆縱、硯、墨

毛筆畫臨本

筆縱、硯、墨

注意

一 毛筆畫ハ濃墨ヲ以テ鈎勒法ヲ施スルヲ云フニ
 一 毛筆畫ハ淡墨ヲ以テ線ヲ明晦ナテ施シ専ラ竿痕ノ
 一 毛筆畫ハ木炭或ハ鉛筆ヲ用井落墨ヲ附スルモ妨ナシ
 一 毛筆畫ハ寫シテ以テ淡墨ヲ以テ鈎勒法ヲ施スルヲ云フニ
 一 毛筆畫ハ濃墨ヲ以テ鈎勒法ヲ施スルヲ云フニ

物理學問

- 第一 一秒時二百メートルノ速度ヲ有スル彈丸ハ厚サ四「メートル」ノ木板ヲ貫徹スルモノトスル時ハ厚サ十二「メートル」ノ木板ヲ貫徹スル彈丸ノ速度如何
- 第二 幅五「センチメートル」厚サ三「センチメートル」長サ二十「センチメートル」ニシテ比重七、七ヲ有スル鐵片ノ重量ハ幾何「グラム」ナルヤ
- 第三 攝氏零度ニ於ケル空氣ノ積一〇〇〇、立方「センチメートル」アリ之ヲ華氏百度ニ熱スルキハ其積若干トナルヤ
- 但氣壓ハ終始變更セザルモノトス
- 第四 液體ノ沸騰ト蒸發トノ差別及其沸騰點トハ如何ナ

ル事ヲ意味スルカ之ヲ詳ニ説明セヨ

- 第五 炭ニ同長質ノ甲乙二金屬線アリ甲ハ口徑二「ミリメートル」ニシテ四「オーム」電氣抵抗ヲ有シ乙ハ其抵抗九「オーム」ナリト云フ然ルキハ乙線ノ口徑幾何アルヤ
- 第六 二物ヲ混合スル時ニ(例へハ食鹽ニ氷ヲ混和スルカ如シ)甚キ寒冷ヲ生スルハ何等ノ理ニ因ルカ之ヲ説明セヨ

化學問題

- 第一 瓦斯體及ヒ固形體ノ水中ニ溶在スルヤ否ヲ驗定スル方法如何
- 第二 酸素ト窒素トノ混合物及ヒ化合物ノ差別如何

英語問題

下ニ掲クル英文ノ意ヲ譯述スヘシ

注意[字書類ノ引用ヲ許サス]

1. The beginning of civilization is the discovery of some useful arts, by which men acquire property, comforts, or luxuries.
2. Work is so much a necessity of existence, that it is less a question whether, than how, we shall work.
3. It was, undoubtedly, the most suitable spot for a camp, had camping been advisable.
4. More accurate knowledge implies increasing power, greater wealth, higher virtue.
5. Happiness indeed depends much more on what is within than without us.
6. Of the inner life of the Japanese, the world at large knows but little.

- 第三 亞硫酸瓦斯ノ製法及ヒ性質ヲ問フ
- 第四 中和トハ如何ナル作用ヲ謂フヤ例ヲ舉ケテ之ヲ説明スヘシ
- 第五 稀硫酸ヲ鐵及ヒ硫化鐵ニ注ケハ如何ナル反應ヲ呈スルヤ方程式ヲ以テ之ヲ示セ
- 第六 石墨、大理石、石膏、金剛石、及ヒ硝石ノ各組成如何

大成學館東京工業學校受験科規則

第一條 本科ノ目的ハ東京工業學校入學試験ニ應スル人々ノ爲メ必要ノ學科ヲ教授ス

第二條 本科ハ九月一日ニ始メ翌年六月廿五日ニ終ルモノトス

第三條 學課表左ノ如シ

學科	程	度	教科書及ヒ參考書	時授毎 間業週
漢文	講讀 白文 訓讀 點讀		日皇文 本朝章 政史軌 記略範	六
英語	譯文 讀法 書作 文取		ユニオン 第四讀本	六
算術	全體			五

代	數	比及 多元一次方程式、 二次方程式終迄	スミス氏 小代數學	四
幾	何	平面全体	菊池氏 幾何學教科書	三
物	理	現象及定律	菊池氏 物理學教科書	三
化	學	無機全体	高松氏 化學教科書	二
圖	畫	自在畫 用本器 臨象法	竹下氏 用器畫	三

第四條 學費ハ左ノ如シ

入學金五十錢 授業科金一圓 教場費金十錢

第五條 授業時間ハ午前第八時ニ始マリ午後第三時半ニ終ル

第六條 入學志願者ハ標式ニ準シタル入學證書及ヒ履歷書ヲ事務局ヘ差出シ許可ヲ受クベシ

保證人ハ丁年以上ニシテ東京府下ニテ一家ヲ營ム者ニ限ル

消印
一錢
印紙

入學並ニ在學證書

私儀今般貴館へ入學致候ニ付テハ御規則堅ク相守リ猥リニ轉學仕間敷候也

本籍(本籍ニハ父兄ノ名ヲ詳記スベシ)
在京宿所族籍

年 月 日 姓 名 年 月 生

大成學館御中

前文何某在學中ニ係ル事件ハ拙者一切引受可申候仍テ保證候也

本人 姓名
在京宿所族籍
親族又ハ故舊
保證人 姓名

履 歷 書

本籍
在京宿所族籍

姓

名

印

年月日生

明治何年何月何日

一何學校卒業

、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

一何々ニテ何學卒業

、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

一何々

、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

一賞罰何々

、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

第七條 退學及ビ休業日等ノ規則ハ本館通則ニ依ル

東京市神田區三崎町
一丁目三番地

私立

大成學館

追 加

(注意)東京工業學校ニテハ當學期ヨリ教科ヲ擴張セラレ電氣工科ヲ新設シ之ヲ電氣機械分科ト電氣化學分科トノ二ツニ分タルガ右ノ如キ學科ヲ修メタル人物ハ目下社會ノ需用最多キ折柄ナレバ志望者夥多ナルベシト云ヘリ

明治廿九年三月十二日印刷
明治廿九年三月廿五日發行

定價金六錢

編輯者兼 東京麴町區飯田町四丁目十二番地
杉浦鋼太郎

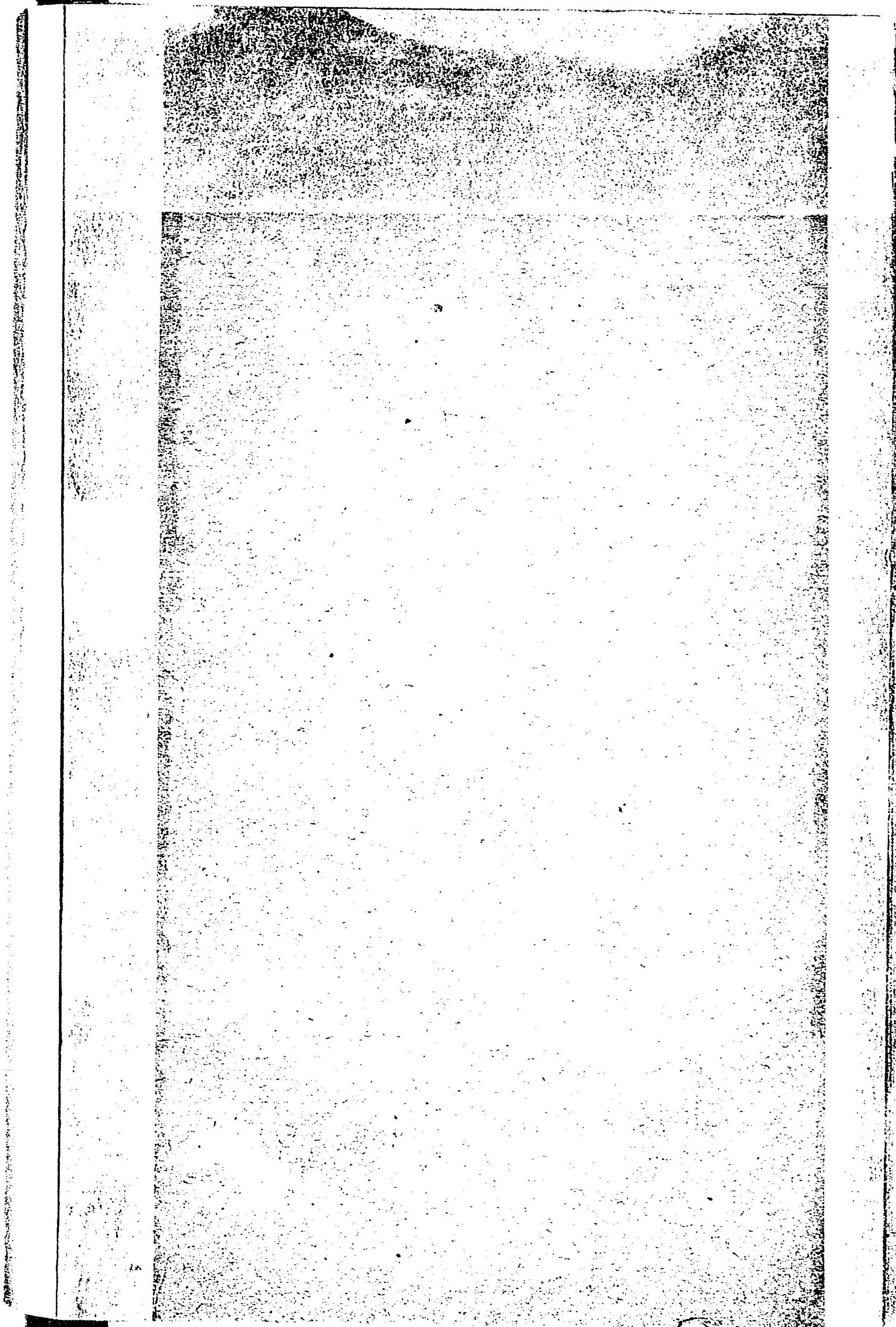
發行所 同 神田區三崎町一丁目三番地
大成學館

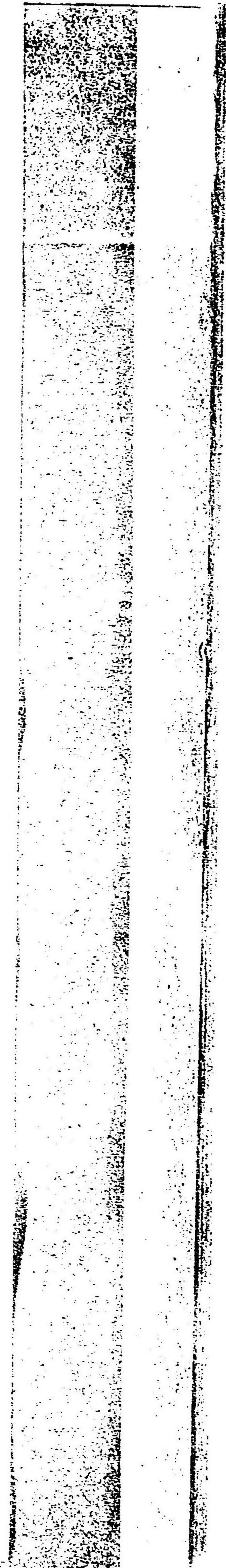
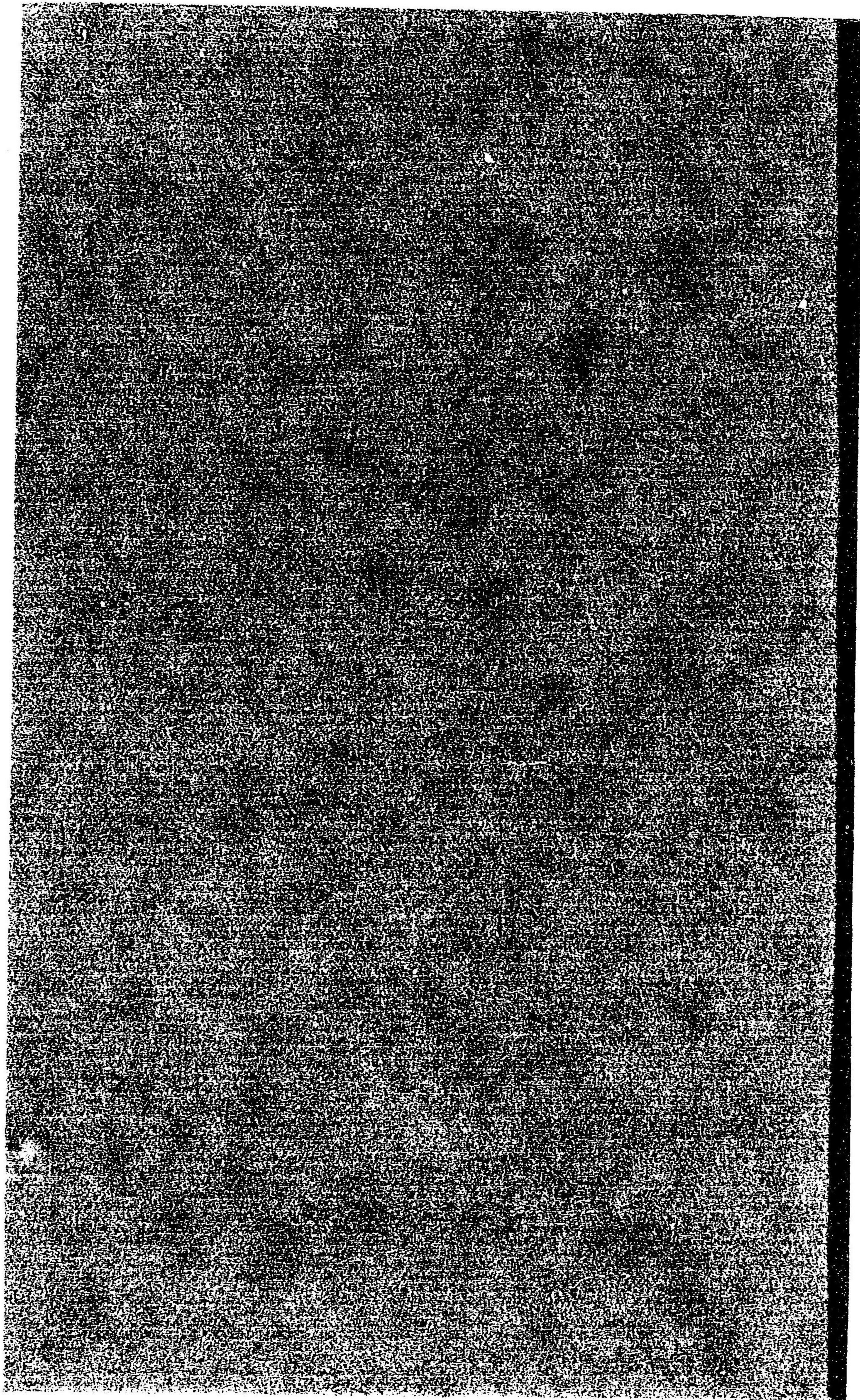
印刷者 同 神田區錦町三丁目一番地
田中正造

印刷所 同 神田區錦町三丁目一番地
同志社活版所

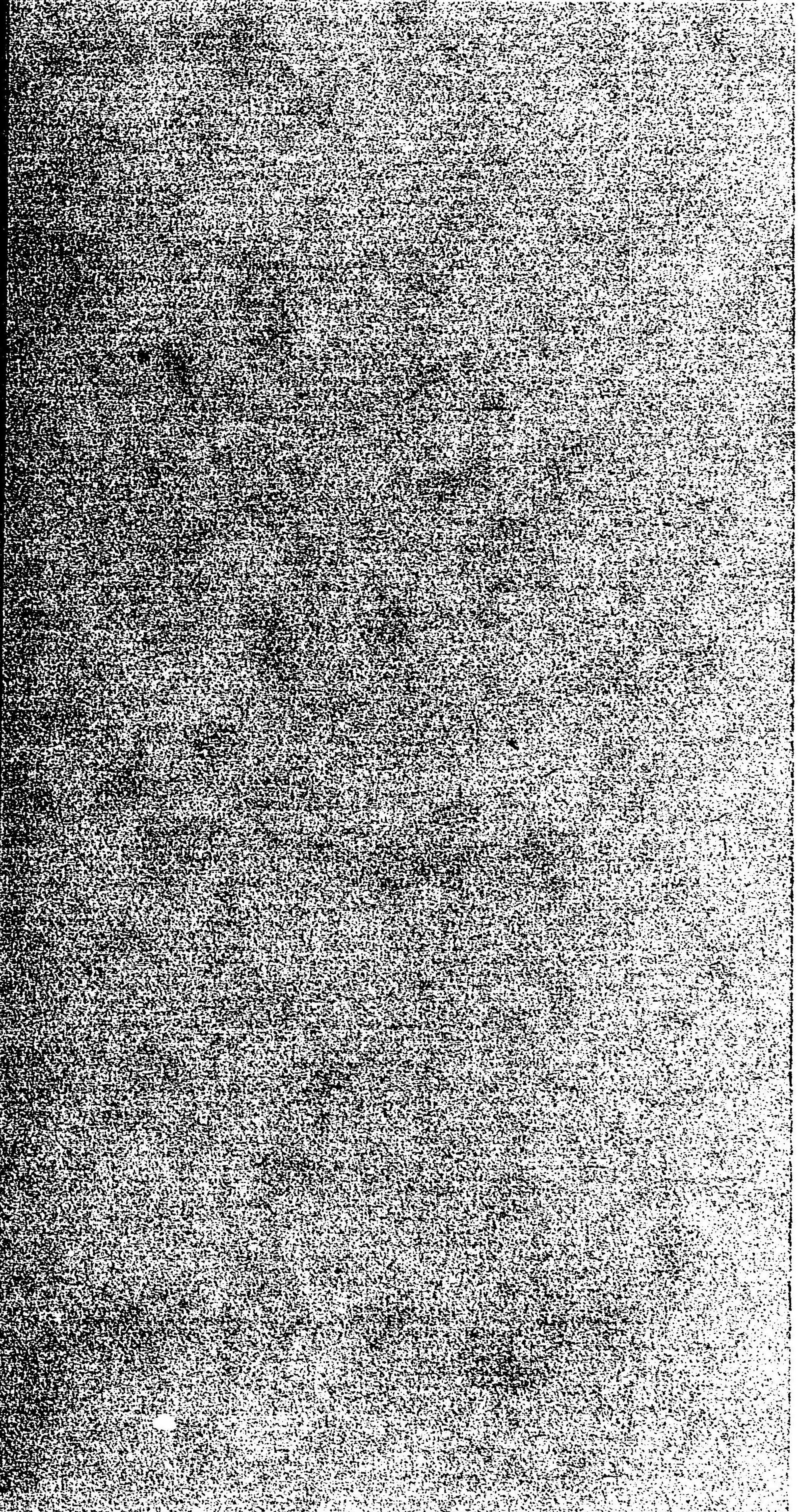
發賣所

六合館 開新堂 上田屋 東京堂 丸善
大倉小林 東海堂 武藏屋





[Redacted]



特5 1

477

東京工業学校入学の栞

国立国会図書館

048836-000-9

特51-477

東京工業学校入学之栞

大成学館

M29

BEJ-0494

